

自らを変え、もっと価値ある存在へ。 進むビジネスモデル変革。

製品ライフサイクルの上流・下流に注力し、さらに収益性を強化

製品ライフサイクルにおいて、上流と下流のプロセスは、中間プロセスよりも高い収益性を持つ傾向にあることが知られています。私たち三井造船の事業においてもそれは当てはまります。そして今、新興国企業がより低コストでものづくりに参入してくる状況や、海運市況の好不況の波を考えると、この収益性の高い上流、下流の過程においてビジネスを育てていかなければ持続的な成長は難しくなります。そのような危機意識を持って、2014年度中期経営計画(対象期間2013年7月～2017年3月)を掲げ、ビジネスモデルの変革に取り組んできた三井造船。他社との提携やグループ企業とのシナジーにより、上流と下流で具体化してきた2つの変革を紹介します。

01

上流過程での変革

ガスエンジニアリング事業の強化

ドイツのガス船エンジニアリング会社TGE Marine AGの株式を取得。
ガスビジネスのさらなる強化が進んでいます。

02

下流過程での変革

アフターサービス事業の拡充

よりお客様の近くにサービス拠点を開設し、修理工場との提携を行うことで
機械分野のアフターサービス事業の拡充が進展しています。

